

法人化 1 年目を終えて

関東学生陸上競技連盟は、2024 年 2 月 28 日に行われた代表委員総会で、任意団体から法人化することが、19 時 45 分に承認され、同年 4 月 1 日から「一般社団法人関東学生陸上競技連盟」として新たなスタートを切りました。

本連盟の法人化の目的は、これまで蓄積した財産を守ること、連盟組織の透明性と健全な運営をすること、そして本連盟に対する社会的信用力の向上にあります。法人となり、新たに組織された理事会が決議事項を取りまとめることとなりましたが、年間事業の遂行は、従来どおり学連幹事を中心に専門委員会、新たに設ける学生協議会の意思を尊重し活動して参りました。

従来の代表委員総会に代わる学生協議会では活発な議論が交わされ、その意見を理事会が尊重して決議する流れが確立されています。学生自治の精神をできるだけ継続していくことはこれからも変わらず守っていきます。

理事会でも毎回活発な意見交換があり、時には 4 時間を超える議論となることもありました。それだけ、理事の一人ひとりが個人の所属にかかわらず、法人全体のために真剣に考えていただいているものだと感謝しております。

そして、過日行われた第 2 回社員総会（7 月 15 日）において、2024 年度事業報告と計算書類を承認いただきました。40 年前までは赤字決算が続く連盟でありましたが、今日では多くの財産を持てるようになりました。これは、先人たちの努力を継承し、自然災害や感染症の流行などによる不測の事態に陥ったとしても、本連盟の事業が支障なく遂行することができることを目的として、長い年月をかけて蓄積してきたものです。

法人化初年度の 2024 年度は、関東インカレや箱根駅伝などの競技会、各種合宿や遠征などの強化事業、審判講習会、顕著な成績を収めた選手・指導者の表彰など予定された事業を滞りなく終えることができました。加盟校の皆様はもちろん、関係するすべての皆様に感謝申し上げます。

2025 年度も本連盟「学生競技者憲章」を遵守し、各校相互の親睦を深め、互いに切磋琢磨して競技力の向上に努め、陸上競技の普及と発展に寄与して参ります。

2025 年 7 月 16 日

一般社団法人 関東学生陸上競技連盟

代表理事 会長 植田恭史